

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

10月号 2013.10.1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方
TEL/FAX 047-431-5065
<http://www.marow.or.jp/chiba/>

野田七夕まつり 8月3日(土)、4日(日)

七夕のイベント会場前の大通りでパレードを見ながら、ふと会話をした女性が、「骨髓バンクって、野田では井野さんがやっていますよね。」と言われて、私は「えっ」と驚き、「私、井野です」と答えてから、いろいろ話をすると、その方は亡夫の同級生だということでした。去年も同じ場所で、岩手出身というその女性も私の身近な方のお知り合いでした。

七夕は出逢いの日、そして骨髓バンクも出逢いを求める活動。なにか共通のものを感じた野田の七夕でした。そして自分には見えないが、見られている事を意識いたしました。

暑い暑い8月3日・4日、遠路来ていただき、参加とご協力ありがとうございました。来年はどなたと逢えるかしら。(井野)



3日 梅田、円東、井野、戸辺、高橋、岩瀬
4日 井野、戸辺、鈴山、小泉
説明受講者 2名



参加者 梅田、遠山
説明受講者 4名

牧の原モア救急フェア 9月14日(土)

印西地区消防組合(印西市、白井市)主催の救急フェアにて、日赤さんが献血、当会が骨髓バンクの啓発活動を行いました。

この会場(牧の原モアショッピングセンター)もそうですが、この近隣には大型ショッピングセンターが沢山あり、救急救命の講習や地震対策のビデオ上映をしています。今回は、救急隊の方が以前より骨髓バンクの啓発をしたいとの念願がかなった救急フェアになり、就学前のこども連れの方が多く驚きました。

救急フェア会場に、いんざい君・けんけつちゃんが登場し、子供たちに人気で、記念撮影する光景が多く見られ、献血併行登録会が開催できればと、思っています。(遠山)

さい帯血バンク全国大会 9月28日(土)

加藤俊一先生の『8月29日に1万例を突破!!2006年以降は世界第1位』との報告を含めた主催者の挨拶にはじまり、移植体験者と家族のお話しまで、約4時間半におよぶプログラムでした。

「質の高い臍帯血の採取をめざして」の加藤淑子先生の講演では、さい帯血の採取がスライドで紹介、また少しでも多くの液量を取るための方法も紹介されました。最近では採取の基準が高まり、「細胞数が多いこと・塊がないこと・感染症がないこと。これらがOKにて保存され、さらに赤ちゃんの6ヶ月後の健康状態良好にて保存が継続される。現在は採取したさい帯血の1割しか保存されない」との話しにビックリでした。そのために先生方が妊婦さんに協力の呼びかけをしているとのこと。採取のハードルが高くなったことで大人の患者さんにも提供出来るようになったことは喜ばしい。世界で最初にさい帯血中に造血幹細胞を発見した中畑龍俊夫先生のお話もお話も興味深かったです。(柴谷)



参加者 柴谷

平成25年度 骨髓バンク推進全国大会が千葉市で開催されます。

主催 (公財)日本骨髓バンク

開催日 平成25年11月9日(土) 場所 京葉銀行文化プラザ音楽ホール(千葉市)

詳細については、現在検討中ですが、県内の担当者の方々一度参加してみませんか?

献血併行登録会

亀田総合病院 8月7日(水)

同病院では登録会を毎年1～2回開催していますが、この日は快晴で、暑い1日でした。しかし登録会場は、病院のロビーでしたので冷房が効いていて快適でした。ロビーは、床のモザイク模様がデザインされた色とりどりの大理石で飾られ、海を連想させる青、白のタイルでグラデーションされた円柱があったりでホテルさながらの造りです。

献血対象は、病院職員と業者さんが中心です。献血は64名でしたが、ドナー登録者は残念ながら2名でした。

4年前に記念植樹した桜は、一時元気がなくなり、枯らしては大変と守衛さんたちがケアして下さいましたが、まだまだ完全回復とは行っていないようです。

尚、以前心配したカイガラムシはいませんでした。(梅田)



説明員 梅田、河口
登録者数 2名
説明受講者 0名



千葉県庁 8月13日(水)～15日(金)

千葉県庁献血併行登録会が行われ、献血・ドナー登録ともに多くの協力者に恵まれた結果、ここ数年間で最も多いドナー登録者数となりました。

また、ドナー登録者数は、これまで毎年増加し、全国で約43万人に達しました。しかし、今後はドナー登録年齢を超過して登録抹消となる人が年々増え、2017年には年間1万人を超えると推計されていることから、特に若年層の登録者を増やしていく必要があります。

今回の登録会は、ボランティアの方々の声かけや、日本赤十字社による献血受付時等の案内により、献血の受付からドナー登録(説明)までの流れがスムーズであると感じました。今後もドナー登録者数を維持するために、関係各者の協力体制が重要であることを改めて実感する機会となりました。(千葉県薬務課 田村)

説明員	登録者数	説明受講者
13日 溝口、黒川、林	12名	5名
14日 柴谷、志田	7名	3名
15日 円東、梅田、仲田	9名	3名

住友化学 9月11日(水)

9月11日、住友化学(株)千葉工場の姉崎地区と袖ヶ浦地区の2か所で献血併行登録会を行いました。

<姉崎地区> 説明員 溝口、松田

今までとは打って変わって涼しい一日でした。少な目の登録でしたが、しっかり考えての登録の様でした。有難うございました。

<袖ヶ浦地区> 説明員 西島、柴谷、河口

袖ヶ浦地区では、近隣の方も来て下さるので、献血車2台で行いましたが、あいにく工場の定期修理にあたり、献血、登録ともあまり伸びませんでした。でも3カ月前にここで骨髄提供をしたという方にお会いできました。この方のお陰で、命が一つ助けられたと感慨深いものがありました。(西島(一))



姉崎地区



袖ヶ浦地区

患者・家族電話相談

「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

～「白血病治療のニュース」～

最近「がん幹細胞」の話題がNHK,新聞等で紹介されています。

本年7月開催の東大医科研附属病院の医療懇談会に参加した時、同血液腫瘍内科の大野伸広先生の講演で、治療の最近の話題が紹介され、この中で白血病のもとになる「白血病幹細胞」が骨髄のニッチ（隙間）に存在し、静止期状態に有るので薬が効きにくい。これを如何にやっつけるか研究が行われているとの紹介がありました。

9月に入り NHK のサイエンスZERO、クローズアップ現代でも取り上げられ、理化学研究所などがAML(急性骨髄性白血病)の「がん幹細胞」の増殖を抑える物質を発見し、マウスでがん幹細胞の死滅に成功したこと、また九大などは、CML(慢性骨髄性白血病)はグリベックを中止すると約60%で再発するが、「がん幹細胞」を「静止期におく物質」を発見し、これを遺伝子的に欠損させたマウスに抗がん剤を投与し、好成績を得たと報告しました。この「静止期におく物質」を抑制する薬剤が開発できれば大いに期待できる治療法であるなどが報道されておりました。今後の発展を大いに期待したいと思います。(溝口)

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費； 3,000円 (学生 1,000円)

振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

ボランティア・会員募集

ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髄バンク＝登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 047-431-5065

事務局 遠山まで

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 患者支援基金の紹介

私たちが会員登録している上記団体に3つの基金を設けておりますので、今号は、下記の基金を紹介させていただきます。関心のある方は、「全国骨髄バンク推進連絡協議会」事務局まで連絡下さい。

分子標的薬治療と精子保存への給付を行う 「志村大輔基金」 のご紹介

志村大輔さんは、34才の時に会社の健診をきっかけに、慢性骨髄性白血病と診断を受けて以来、分子標的薬の投薬治療での闘病のかたわら、同じ病で経済的負担に苦しむ患者さんらのために、関係各所に対し要望・要請活動など、負担軽減のための活動をされていました。

精力的な活動は高額療養費問題が見直されるきっかけのひとつにもなりましたが、2012年1月、6年にも及ぶ長い闘病の末に39才の若さで亡くなりました。

そのご遺志を受け継ぎ、米国大手金融機関であるゴールドマン・サックスにサポートいただき志村さんの名を冠し、血液疾患の治療中で分子標的薬を服用している患者さんおよび造血細胞移植や抗がん治療を受ける患者さんで精子保存を希望される方へ医療費の一部を助成する基金です。給付条件等は下記のとおりです。

【分子標的薬】

●血液疾患で長期にわたって分子標的薬治療を続け、経済的に困窮している70歳未満の患者。

<給付内容>

高額療養費制度利用後の自己負担分について給付。

●一般所得者 給付上限額 年間 30万円

●低所得者 給付上限額 年間 12万円

【精子保存】

●今後、造血幹細胞移植や抗がん剤治療を開始予定で精子保存を希望される45歳以下の男性患者。

<給付内容>

●精子保存にかかる採取・保存費用、採取のための交通費の一部

●上限額 20万円。

※給付対象 ●日本国内に居住し、日本国内で治療中であること。

(共通事項) ●世帯の所得が、当基金の定める額を超えていない方。(所定の算定表により算出します。)

お問合せ先

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会

TEL 03-6693-2840 (基金専用)

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2013年8月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数
ドナー登録者数	435,367	+2,031	13,355	+1
累計患者登録者数	39,569	+494	1,556	+14
累計移植例数	15,955	+240	503	+10

会員紹介 ～ 野沢明男 ～

19歳で急性リンパ性白血病にかかり、21歳で骨髄バンクを介した移植を受けた35歳です。

骨髄移植から14年が経過し、患者仲間の間などでよく第二の人生という言葉を使いますが、これまでの第二の人生は、挫折の連続でした。近頃、ようやく移植後の後遺症(多発性筋炎)とうまく付き合えるようになった気がします。“少しぐらい調子の悪いところがあってもいいじゃないか”と思えるようになったわけです。

白血病に感謝はしませんが、おかげでいろいろな体験ができたし、友達もたくさんできました。同病を経験した友人の受け売りになりますが「己の欲するところを他人に施せ」を心がけ、これからの人生も関わる人みんなと楽しんでいきたいと思っています。



アラビアより愛をこめて 5

皆さん、お元気ですか?いつもの定番みやげの「デーツ」のナツメヤシの実、今が旬です。4月から実が出来、7月には真っ赤になり、やがてワインカラーになる頃、熟して甘みが増します。昔から、砂漠の民が栄養源として重宝しており、鉄分、ミネラルを多く含んでいるようです。

アラビアンコーヒーと一緒に「おひとついかが」と出される機上のおもてなしはなかなか素敵です。写真は、実が黄色ですが、赤色の方がおいしいです。(西島隆史)



私の住んでいるコミュニティ内の街路樹から

今後の予定 (お知らせ)

啓発活動&登録説明会

- ・10月6日(日) 生涯学習フェスタ
モラロジー研究所(麗澤大学)(柏市)
- ・10月6日(日) 野田市健康づくりフェスティバル
- ドナー登録会
- ・10月1日(火)～3日(木) 帝京平成大学
- ・10月5日(土)、6日(火) 松戸まつり
- ・10月5日(土) 野田市産業祭
- ドナー登録会とイベント
- ・11月16日(土)、17日(日) スーパーバンク ペイ
ィット フォワード 代々木公園(登録会は17日)
- イベント
- ・10月20日(日) グリーンホーンランニングフェスティバル
国立競技場
- ・11月9日(土) 日本骨髄バンク全国大会
京葉銀行文化プラザ 音楽ホール(千葉市)

定例会予定

- 日時 11月3日(日) 14時～
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム
- 日時 12月1日(日) 14時～
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

今年も咲いた
いのちの朝顔



心からのご寄付

ありがとうございます。

岡田 智子 様	2,000 円
吉川 優子 様	7,000 円
佐野 正枝 様	2,000 円
岡野 ふさ子 様	2,000 円
小俣 和雄 様	2,000 円

<編集者のひとりごと>

昨年度は、年4回の発行。今年度は、年6回の発行予定ですが、毎月発行となると編集作業がもう大変。今後も隔月の年6回発行にしたいと勝手に思っています。

県内各市で、献血を実施していると思いますが、なぜ、ドナー登録会を併行して出来ないのかな? 日赤さんは、OK。説明員(正式には不必要)もOK。前例がないからか? 仕事がしたくないか? 不謹慎かもしれないが、身内に降りかからないと役所(担当者)は、動かないのかなあ。(遠山)